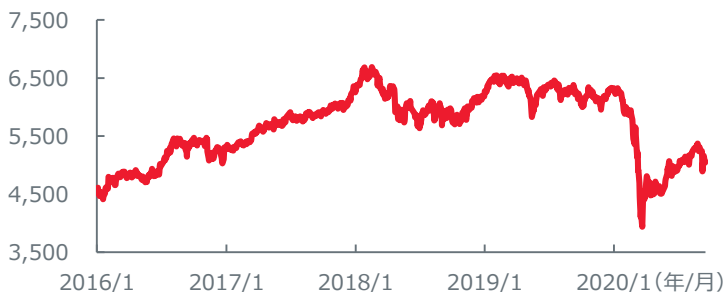


(対象期間：2020/9/14～2020/9/18)

【株式市場】ジャカルタ総合指数の推移
(2016年1月4日～2020年9月18日)

(ポイント)



【株式市場】

週初は9日発表された首都ジャカルタの大規模社会制限の再導入の内容が当初予想よりも緩やかとなった安心感から、株式市場は買い戻しの動きが広がりました。その後は国内投資家による利益確定売りや外国人投資家の資金流出などを背景に下落しましたが、週間では上昇しました。セクター別では建設活動が活発化する中で、建設・不動産が上昇したほか、中国の需要増期待などを背景にパーム油が堅調となったことを受けて農業も上昇しました。

2020/9/11	2020/9/18	変化率
5,016.71	5,059.22	+0.85%

【債券市場】インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移
(2016年1月1日～2020年9月18日)

(%)



【債券市場】

10年国債利回りは週間で低下（価格は上昇）しました。ジャカルタの社会制限の内容が予想よりも緩やかだったことへの安心感から、週初は買い戻しが広がりました。15日のイスラム国債の入札では国内銀行の応札が低調となりました。17日、インドネシア中央銀行（BI）は市場の予想通り政策金利を4%に据え置きました。これを受けて債券市場は小動きとなりましたが、通貨が堅調となったことを受け、週末にかけて利回りは再び低下しました。

2020/9/11	2020/9/18	変化幅
6.961	6.895	-0.066

【為替市場】インドネシアルピアの対円レートの推移
(2016年1月1日～2020年9月18日)

100インドネシアルピアの対円レート

【為替市場】

ルピアは週間では対米ドルで上昇しましたが、対円では円高が進行したため下落しました。米国の金融緩和長期化観測から米ドルが全般的に弱含みとなったことや、17日のBIの政策決定会合後の会見で、ペリーBI総裁が引き続きルピアの安定を強化する姿勢を示したことが、対米ドルでの上昇要因となりました。

2020/9/11	2020/9/18	変化率
0.7086	0.7083	-0.04%

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシアランス社とは関係がありません。

英国ブルーデンシャル・グループ

200923 (01)